



# 図書館だより

令和5年6月  
32H 船木・山本



## 家族

6月に結婚する花嫁は「ジューンブライド (June Bride)」と呼ばれ、一生幸せな結婚生活を送ることができると言われています。今回は皆さんにもなじみやすいように家族というテーマで本を紹介します。これをきっかけに家族の方との仲をより深めてみてはいかがでしょうか。

### 「そしてバトンは、渡された」 瀬尾マイコ 文藝春秋

17歳の主人公・優子はこれまでに4回も名字が変わり、父親が3人、母親が2人いて、家族の形態が7回も変わる中で生きてきました。しかし、どの親にも目一杯の愛情を受け、優子はまっすぐ成長し幸せに暮らしてきました。現在の親である森宮さんは、血のつながりはないものの、男手一つで優子を育ててきました。身近な人たちの大切さに気づかされます。親という存在がどれだけ大切なものかを再認識することができる笑いあり涙ありの作品です。



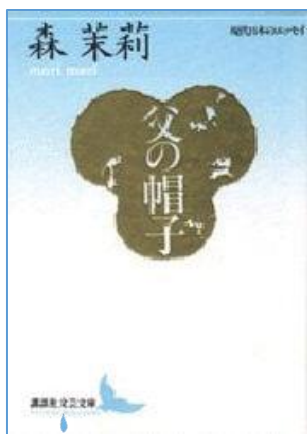
### 「母べえ」 野上照代 中央公論新社

太平洋戦争前夜、治安維持法により父が警察に検挙され、投獄されてしまう。父とは手紙でしか連絡をとれない中で、母は娘二人を守るために全力を尽くして生きる。この作品では絶望的な状況にありながらも明るくたくましく生きる、愛にあふれた家族が描かれている。今ある生活、今いる家族の大切さを改めて確認できて、読んだ後にはきっと家族の顔が見たくなると思う。

### 「水を縫う」 寺地はるな 集英社

手芸好きな清澄は、「男なのに」と趣味をからかわれ周囲からいつも少し浮いていた高校一年生。ある日姉のウェディングドレスを作る宣言をしますが、可愛いものを否定して生きてきた姉の希望に応えるのに一苦労。離婚して別々に暮らしている父が元デザイナー志望だったため、相談を持ちかけますが、「今さら父親面でけへん」と言われてしまいます。男なのに刺繍が大好きな清澄、女なのに可愛いものが苦手な姉の水青、子どもに悪目立ちしてほしくない母のさつ子、夢を追いきれずに結婚・離婚を経験した父の全、女だからと本当にやりたいことをしてこられなかった祖母の文枝。世の中の「普通」という価値観を問い直す家族の物語です。





「父の帽子」 森茉莉 講談社

国語の授業で習って知っている人も多いであろう森鷗外。その娘が書いたエッセイ。家族との心を揺さぶられるエピソードから日常の事細かなことまで書かれている。彼女の感想を多く添えて語られているので読んでいてとても感情移入しやすくなっている。特に、父親へのリスペクトや母親への愛など家族に対する想いがとても伝わってくる作品になっている。家族というものについて考え直したい人や森鷗外のことについて興味がある人はぜひ読んでほしい。



# 新着図書紹介

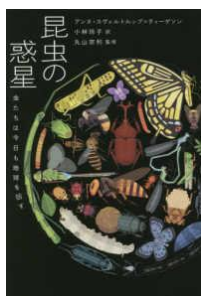
図書館前にすべて  
展示中！

〈メンタルモンスター〉になる。：長友佑都	長友佑都 「メンタルモンスター」になる。 YUTO NAGATOMO	栗山ノート：栗山英樹
1時間でハングルが読めるようになる本：チョ・ヒチョル		ChatGPT：古川涉一
不可能を可能にする大谷翔平 120の思考：大谷翔平	栗山英樹 栗山ノート	運命を拓く：中村天風
まんがでわかる理科系の作文技術：木下是雄		調べる技術：小林昌樹
テムズとともに：英国の二年間：徳仁親王	栗山英樹 栗山ノート	日本史を暴く：磯田道史
おつかれ、今日の私。ジェーン・スー		神様の御用人7：浅葉なつ
ゲッターズ飯田の占いよりも大切な話：ゲッターズ飯田	栗山英樹 栗山ノート	シュナの旅：宮崎駿
上野千鶴子をもっと文学を社会学する：上野千鶴子		ムラブリ：伊藤雄馬
パッチワークファミリー：いそがいこういちろう	栗山英樹 栗山ノート	一人十色：梅沢富美男
情報生産者になる：上野千鶴子		ロスト・ケア：葉真中颯
グレーゾーンの歩き方：成沢真介		

# 図書館からのお知らせ

7月3日(月)～7月11日(火)

蔵書点検のため休館します。貸出しはしませんが、返却のみ受け付けます。返却期限を過ぎている人は、7月1日(土)までに返却してください。



読書感想文課題図書を  
展示しています。

『ラフカは静かに弓を持つ』安壇美緒著 集英社  
『タガヤセ！日本』白石優生著 河出書房新社  
『昆虫の惑星』アンヌ・スガエルトルップ＝ティエゲソン著 辰巳出版



毎年恒例の人気企画が始まった！何か気になる人は、見に来てね！

